

いたかんネット

板橋マンション管理組合ネットワーク

2013年
1月号
No.37

新春に寄せて

板橋区長 坂本 健



平成二五年の新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、貴団体が設立十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

昨年、板橋区は区制施行八〇周年の節目を迎えました。住宅政策においては、戦後の住宅不足から大量の供給時代を経て、量から質へと転換され、昨今は空き家・空室が増加する状況の中、「ストック活用・市場重視」をキーワードに取り組むべき課題も多様になっています。

板橋区では、こうした課題に向き合っていくために、平成二三年度より第四次住宅マスタープランを策定し

様々な事業に取り組んでいくところとす。

分譲マンションについては、適正な維持管理に向けて、管理組合等への情報提供や相談体制の充実を図るために、貴団体にもご協力いただき、マンション管理セミナー、居住者交流会、個別相談会、大規模修繕アドバイザー派遣制度などの取組みを行ってまいりました。

管理組合が抱える課題は複雑・高度化してきています。今後引き続き貴団体にご協力いただき、幅広い分野から管理組合への情報提供や相談体制の充実を図っていきたくと考えております。

また、東日本大震災等を契機にマンションにお住まいの方や、近隣の地域の方々の防災意識の高まりもあり、改めてマンション防災や地域との連携がクローズアップされております。

耐震性や耐火性に優れたマンションの特性を活かした近隣住民の一時的な避難も含む避難所としての機能の充実や帰宅困難者への支援など、安心・安全な地域社会の形成に向けて、マンションへの期待も高くなっていると思います。

区といたしましても、近隣住民と一体となった防災訓練等の実施、避難所機能の強化など管理組合や地域に働きかけていきたいと思っています。

こうした取り組みは、防災面の強化だけでなく、地域コミュニティを強め、高齢者の見守りや親子交流の拠点等、幅広い世代が安心して住み続けられるための活動へと発展する可能性があり、マンションや地域の価値を高めていくことにもつながっていくと考えています。

今年も更なる飛躍の年として、住宅政策に取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

新しい年・新たな活動に向けて



いたかんネット会長
成島圭子

平成 25 年 1 月から、役職交代により会長役を務めることになりました。理事たちで力を合わせて、これからさまざまなイベントに取り組んでまいります。そして理事会活動は、仲良く楽しく（小学校の標語のようですが）をモットーに進めていきたいと思っています。微力ですが、会員のみなさまが「いたかんに入会して良かった」と思っていただけのような会になるよう努力いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。